

年頭にあたって

洞爺村長

菊地 勉

村民の皆様、あけましておめでとうございます。家族そろって清々しい新年を迎えられたことと存じます。

さて、昨年を振り返ってみますと、村の最重要課題でありました、虻田町との町村合併の選択をはじめ、国の三位一体改革に伴う行財政改革、少子高齢化の急速な進展に伴う対策、安全・安心の地域づくり、そして、地域振興対策としてのまちづくり交付金事業の採択要望、道々各線の改修陳情など、山積みする重要な課題を抱え、合併という限られた時間の中で気の休まるひまのない二〇〇五年でありましたが、多くの課題に対し将来につながる道筋を付けることができました。ここに、村民の



皆様のご支援・ご協力に対し、心から感謝を申し上げますとともに、新年度からの地域づくり計画について申し上げます。

一、町村合併について

豊浦町・虻田町・洞爺村との間で協議をまいりました合併協議も、最終局面において、虻田町と豊浦町で実施した住民投票の結果を受け、豊浦町・虻田町・洞爺村合併協議会より豊浦町が離脱いたしました。

このことから本村では、虻田町との合併を判断するため住民意識調査を実施し、各地区での住民説明会を経て、虻田町と洞爺村との合併協議を進め、本年三月二十七日に合併することに至りました。

この間、わずか一年と言う短い期間にも係わらず、虻田町と洞爺村との合併議決、北海道知事への合併申請、二町村間の事務事業の調整、条例、規則等の改編・整備など現在事務調整を全力を上げて行っているところであります。合併に伴って地域の皆様が混乱することのないよう、新しい町「洞爺湖町」の誕生準備に努めてまいります。

二、安全・安心の村づくりについて

最近、国内においては、小中

学生の連れ去りや殺人事件など、悲しい出来事が繰り返し発生しております。

このような事件・事故から子どもや高齢者を守るため、防犯協会やボランティアセンターが中心となり、学校、PTAなど、村内各団体との連携の中で、安全・安心の村づくりが推進され、その効果として幸い無事故で新年を迎えました。心から村民の皆様へ感謝を申し上げます。

しかし、昨今の車社会、情報化社会では、想像のつかない事件や事故がいつ、どこで起きるかわかりません。守られるべき子どもや高齢者に対して、皆様に目配り、気配りをお願いし、地域の安全・安心は地域で守るを合言葉に村民総参加の安全・安心運動の推進を願うものです。

三、道路などの整備について

道道洞爺虻田線（通称洞爺湖ぐるっと一周西回り線）は、村民の生活に最も重要な道路として、昭和四十年代から要望を続けて来た道路であります。いまだ大雨時には交通規制がなされ、大型バスの通行もままならない状況にあります。村では、

国の厳しい財政状況下益々困難を極める道路整備に対し、大型バスの通行可能な二車線確保を

前提に、地域提案型の要望をいたしました。この提案が受け入れられ、平成十八年度予定の青淵付近の地質調査及び環境負荷に対する現地調査は、繰り上げて本年度実施していただきました。

また、道道豊浦洞爺線の香川入口から農協スタンド前までの湖水側歩道整備事業についても平成十八年度から事業着工がなされる計画となっております。

四、まちづくり交付金事業について

洞爺湖の自然や洞爺村の文化・産業を有機的に結び付け、潤いと魅力ある滞在交流型観光の推進と中心市街地の活性化を図るため計画しておりました洞爺村市街地区のまちづくり交付金事業について、ほぼ採択が決定し、総事業費六億五千万円で、平成十八年から平成二十二年までの五か年事業として実施することになりました。

事業の内容は、これまでも広報でお知らせした内容のとおりであります。

五、新町における洞爺総合支所と洞爺消防支署の合築について

これまでの長い間の懸案でありました洞爺村の役場庁舎（合

併後の総合支所）及び消防洞爺支署を来年度、総合センター横に合築することを決め新町に引き継ぎます。

合併しても、住民の皆様のご利益を守り、そして地域振興の拠点として、また防災や安全・安心の確立のために建築いたします。

六、新町元年に期待して

本年三月の合併に向けた洞爺村の課題の内、特に重要と思われる事項についていくつか記述いたしました。合併はまさに地域の将来を左右する極めて重要な節目であります。この合併を悲観的に捉えるのではなく、両町村の持つ良さを持ち寄り新たな地域づくりへと発展させる絶好の機会として捉え、洞爺村の地域として計画している各種事業等を新町建設計画へ引継ぎをいたします。

新たな地域づくりには数年単位の歳月が必要だと思いますが、洞爺湖町住民の協調と知恵を持って、新町の発展に、皆様のご理解とご協力をお願いし、村民の皆様のご健勝と幸い多き年となりますようご祈念申し上げます。頭のご挨拶いたします。